

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	山形県
-------	-----

学校の概要

学校名	新庄市立日新小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	4	4	4	2	26	37
児童数	126	118	126	123	127	133	2	755	

研究の概要

1. 研究主題

夢を育む学校づくり ~日新夢づくり校房へのトライやる~
--------------------------------

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

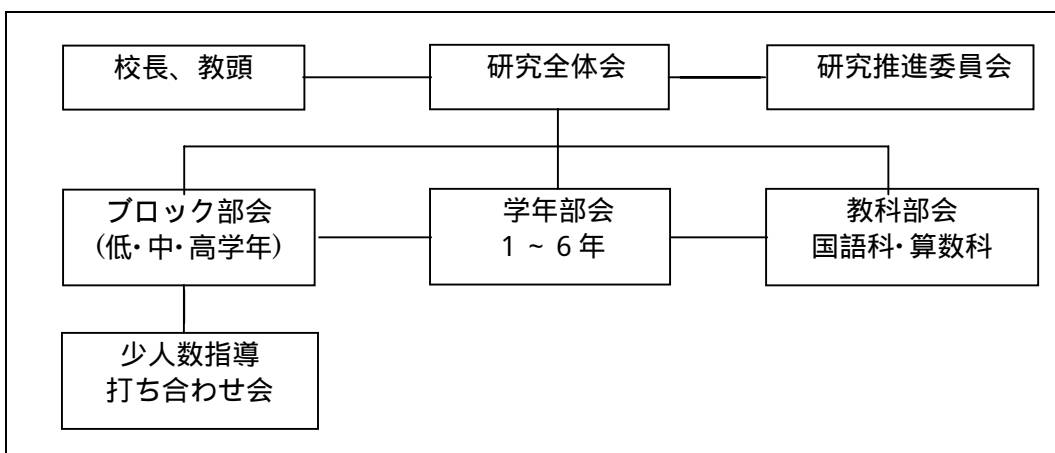
1～6年生	国語科	児童の実態から「伝え合う力」を育てたいという指導者の願いに取り組むための中心の教科であるから。
	算数科	学年が上がるほどに児童の理解の状況についての個人差が見られる教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	テーマ 自分を高める子どもの育成  研究の見通し (1) 算数科や国語科における指導方法・指導体制を工夫し、教材開発などの授業改善を図り、個に応じたきめ細かな指導をすることにより、「できた」「分かった」という喜びを体験させ、確実な定着を図る。  研究の内容・方法 (1) 児童も教師も個の力・集団の力を発揮する授業改善の試み 少人数指導(TT指導)を支える校内体制の確立 時間割の弾力的活用  (2) 「できた」「分かった」という実感のある少人数指導(TT指導)の実践  児童の実態把握(アンケート・テスト・指導者の情報交換) メインサブ型(1教室を2人体制で) 1クラスを2つに分けて(小集団の形成、教室・多目的スペースでの学習) 複式的要素を取り入れて(1人で)などの指導体制の工夫  指導内容と児童の実態に基づいたコース選択学習 実態把握の実施 個人の調査 相談 コース選択 単元の感想  単元の工夫と教材の協同開発ならびに指導と評価の一体化を図る工夫 学習環境の整備(「学習の約束」、少人数指導紹介のたより、図書購入)
--------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 自分を高める子どもの育成 心を磨く子どもの育成</p> <p>研究の見通し (1) 平成15年度の研究の基本的な考え方を継続し、以下の2点について全校体制で取り組む。 夢や目標を学習の動機として、自分を高める子を育成する。 大規模校におけるクラス・学年の児童の望ましい人間関係を確立する。</p> <p>研究の内容・方法 (1) 平成15年度の研究内容・成果を焦点化して継続する。 (2) 算数科においては、少人数指導(TT指導)の指導体制の確立とコース選択学習の教材の積極的開発を中心に検証する。 (3) 国語科においては、児童の実態把握の方法の多様化と評価基準と単元構成を明確にした授業作りを中心に検証する。 (4) 自分の将来をデザインする試み ・夢や目標のコーナーの設置など (5) 多面的な見方で児童を理解し、社会性を育成する試み ・QUTテストの実施と学級経営の見直しなど</p>
----------------	---

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

担任+少人数担当で知恵を出し合い仕事を分担し合うことにより、児童の学びの要求に合うような単元構成や学習材を作ることが可能になった。  
少人数指導を取り入れたことにより、児童の学習状況についての伸びやつまづきを早めに把握し、学習内容を確実に身につけることができる指導形態を工夫した授業ができるようになった。  
授業改善の手立てに生かす児童アンケートの結果  
少人数指導体制がしっかりとられている学年においては、「勉強の内容がよく分かるようになった。95.5%」「問題を解くときに自分で考えることが多くなった。88.3%」「計算などができるようになった。85%」「場所をかえて勉強をすることが好きになった。79.2%」という結果であった。

## 2. 今後の課題

少人数指導時間の設定の仕方や担任との打ち合わせの時間の確保などについて今後も検討を重ね、効果的な校内体制の確立を目指す。  
 学習意欲についての児童アンケートから、「学校が楽しい、勉強がおもしろい、よく分かる、とき」や「興味のあることに取り組んでいるとき」に学習意欲が増すことが、確かな学力を向上させるための大きな要素になることを確認したので、授業改善のポイントとして研究を重点化していく。  
 「自分の将来をデザインする試み」について全校的な取り組みとし、学年の発達段階に応じた指導方法を検討し、実践する。  
 多面的な見方で児童を理解し社会性を育成する試みについては、学力向上を支える土台として日常的に研究を積み重ねていく。

### 学力等把握のための学校としての取組

**NRTテスト(集団基準に準拠した評価)の実施、分析と方策**  
 目的：基礎的・基本的な学力と自ら考える力を把握する。  
 内容：国語、社会、算数、理科の4教科(3～6年生) 国語、算数(1～2年生)  
 時期：4月

**CRTテスト(教える目標・内容に準拠した評価)実施と見届け指導**  
 目的：基礎的・基本的な学力  
 内容：国語、社会、算数、理科の4教科(3～6年生) 国語、算数(1～2年生)  
 時期：2月

**QUテスト(学級集団アセスメント)の実施と診断結果を活用**  
 目的：学級集団の状態の診断と一人一人の児童の学校生活の傾向の把握  
 内容：楽しい学校生活を送るためのアンケート  
 時期：6月と11月

**学習意識調査(研究の手がかりにする)**  
 目的：学習意欲、学習習慣、授業についての児童の意識を探る。  
 内容：アンケート  
 時期：10月

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

\* 研究会，説明会の開催予定

日	時	平成16年11月17日(水)
場	所	新庄市立日新小学校
対	象	県内教育関係者
会	の目的	研究実践の内容と成果の発信

\* 研究成果普及のためのHP作成、パンフレット作成等今後の予定あり

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	<input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校	<input type="checkbox"/> 14年度からの継続校
【学校規模】	<input type="checkbox"/> 6学級以下 <input type="checkbox"/> 13～18学級 <input checked="" type="checkbox"/> 25学級以上	<input type="checkbox"/> 7～12学級 <input type="checkbox"/> 19～24学級
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 <input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制	<input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 その他
【研究教科】	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 生活 体育 社会 音楽 その他	<input checked="" type="checkbox"/> 算数 図画工作 理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無